

授業科目 (ナンバリング)	総合基礎学習 I (NH232)			担当教員	藤田 英明・山口 拓・神田 紘介・ 山田 耕平・末廣 真理恵・引率教員		
展開方法	演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	2年・通 年	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
「総合基礎学習 I」は、基礎学力向上と学生の自主性・連携を育み、薬剤師としての資質を醸成するための総合的学習とする。また、「臨床体験学習」を主体としたヒューマンズム教育を行う科目である。1年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶと共に、学習へのモチベーション向上を目指す。							②④⑦⑨⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力	薬学を学ぶ上で必要な多くの基礎科目の知識を理解する。				基礎学力確認試験 (CAI を用いた試験・補習・自習)	70%	
情報収集、 分析力							
コミュニケーション力	医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。				態度・プレゼンテーション・レポート	10%	
協働・課題解決力	チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心を持てるようになる。				態度・プレゼンテーション・レポート	10%	
多様性理解力	チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、体験し理解する。				態度・プレゼンテーション・レポート	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>基礎学力確認試験 (CAI、3回) は、各回試験範囲・試験時期に応じたポイント制による評価を行う。</p> <p>「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションを行う。事前学習・実習中の態度およびプレゼンテーション・レポートの内容を評価する。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標 (ルーブリック) は別途配布する。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>基礎学力確認試験 (CAI、3回) を通して基礎学力向上と学生の自主性・連携を育み、薬剤師としての資質を醸成する。「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場を見学・体験する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：配布プリント等 参考書：なし 指定図書：「薬学生 dead or alive—薬学生, 成功への鍵は…」(京都廣川書店)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>薬剤師としての10の資質である、「基礎的な科学力」を身につけると共に、「自己研鑽」「教育能力」を育てたい。「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者(患者・医師・理学療法士など)とどのような関わりをするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるのかについて、思いを馳せて欲しい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到 達 目 標 番 号 *
1	オリエンテーション	「総合基礎学習Ⅰ」のねらいについて説明（藤田）		
2	CAI 補習 1	基礎学力確認試験①試験範囲についての CAI 補習を行う。（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	
3	基礎学力確認試験①	CAI 試験（6月実施予定）（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	
4	臨床体験学習 1	事前学習（神田・藤田）	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
5	臨床体験学習 2	リハビリテーション病院で医療現場を体験する。（神田・山口拓・山田・末廣・藤田・引率教員）	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
6	臨床体験学習 3	リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションの準備を行う。（神田・山口拓・山田・末廣・藤田）	体験学習した内容について復習する。	
7	臨床体験学習 4	リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。（神田・山口拓・山田・末廣・藤田）	他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。	
8	CAI 補習 2	基礎学力確認試験②試験範囲についての CAI 補習を行う。（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	
9	基礎学力確認試験②	CAI 試験（10月実施予定）（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	
10	CAI 補習 3	基礎学力確認試験③試験範囲についての CAI 補習を行う。（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	
11	基礎学力確認試験③	CAI 試験（12月実施予定）（藤田・山口拓・山田・末廣）	試験範囲について予習・復習する。	

注) 上記の第1回～第11回は、授業の概要を示したもので、講義の回数・順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。